



● 今月のご紹介者

川瀬産業株式会社 代表取締役社長 川瀬 幸久 氏

『人間の分際』 著 / 曾野 綾子 出版社 / 幻冬舎



[あらすじ]

スポーツの世界では「努力すれば必ず報いられる」などという美談が溢れている。しかし著者の八十余年の体験だけでも、努力してもダメなことは実に多いという。つまり、ほとんどすべてのことに努力でなしうる限度があり、人間はその分際（身の程）を心得ない限り、到底幸福には暮らせないのだ。「すべてのものには分際がある」「老いと死がなければ、人間は謙虚になれない」「誰でも人生の終盤は負け戦」「他人を傷つけずに生きることはできない」「『流される』ことも一つの美学」「老年ほど勇気を必要とする時はない」等々、作家として六十年以上、世の中をみてきた著者の知恵を凝縮した一冊。

Q 1 : この本を手にとられたきっかけについて

本社工場の火災、リーマンショック後の大幅赤字決算のなか、45歳で社長を拝任しました。艱難辛苦のなか、暗中模索であった時に書店で偶然見つけたのがきっかけです。今も手元において読み返しています。

Q 2 : この本をお薦めしたい理由について

「逆境の無い人生は無い。」「人生の本当の意味は苦しみの中にある。」「感謝することが多いほど幸せになれる。」などの項目のなかで、一番印象に残っている文章は、「成功のたった一つの鍵は、忍耐なのである。」という言葉です。

「世の中で、それさえ持っていれば好きなものが手に入るというのが『打ち出の小槌』だが、その魔法の小槌を買うことはできない。何かそれに代わる確実なものはないかと探した場合、誰にでも手に入るものがある。それが忍耐なのである。」この一節は、今でも座右の銘として悩んだ際に反

芻しております。

先日、実家を訪れた際に、奇遇にも父親で創業者（現相談役）の床の間にお客様から頂いたという「忍耐」という野口英世の置物を垣間見、感慨深いものがありました。これから年齢を重ねにつれ、「人間が生きる」という本質に触れる書籍と感じました。筆者の過去の書籍から、テーマに即して名言を抜粋しているので読みやすいです。

Q 3 : どういった方にお薦めしたいですか

日々営みのなかで、一つの導としてご参考になれば幸いです。



「リサイクルを化学する」クリエイティブカンパニー

川瀬産業 株式会社

川瀬産業株式会社

本社：大阪府貝塚市加神2丁目20番35号

資本金：1億円

従業員数：63名

事業内容：廃プラスチック回収事業、マテリアルリサイクル「リプラギ」製品販売事業 他